

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公表番号】特表2006-528484(P2006-528484A)

【公表日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2006-520905(P2006-520905)

【国際特許分類】

C 1 2 N	7/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	7/00	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/02	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機能性ICP34.5をコードする遺伝子を欠いたヘルペスウイルスであって、該ヘルペスウイルスが、

(i) プロドラッグ変換酵素をコードする異種遺伝子、及び

(ii) 細胞と細胞との融合を引き起こすことができるタンパク質をコードする異種遺伝子、
を含む、前記ヘルペスウイルス。

【請求項2】

前記プロドラッグ変換酵素がシトシンデアミナーゼである、請求項1に記載のウイルス。

【請求項3】

前記細胞と細胞との融合を引き起こすことができるタンパク質がテナガザル白血病融合性糖タンパク質である、請求項1又は2に記載のウイルス。

【請求項4】

前記ウイルスの抗腫瘍治療効果を高めることができる、さらなる異種遺伝子を1以上含む、請求項1～3のいずれか1項に記載のウイルス。

【請求項5】

ICP47をコードする機能性遺伝子をさらに欠いた、請求項1～4のいずれか1項に記載のウイルス。

【請求項 6】

単純ヘルペスウイルス1又は2の株である、請求項1～5のいずれか1項に記載のウイルス。

【請求項 7】

非実験室ウイルス株である、請求項1～6のいずれか1項に記載のウイルス。

【請求項 8】

European collection of cell cultures (ECAAC) に受託番号 01010209で寄託されたHS V1 JSIに由来する、請求項1～7のいずれか1項に記載のウイルス。

【請求項 9】

療法によりヒト又は動物の体を治療する方法に使用する、請求項1～8のいずれか1項に記載のウイルス。

【請求項 10】

請求項1～9のいずれか1項に記載のウイルスを含む、癌の治療を目的とした薬剤。

【請求項 11】

前記薬剤が直接腫瘍内接種用である、請求項10に記載の薬剤。

【請求項 12】

有効成分として請求項1～8のいずれか1項に記載のウイルス及び製薬上許容可能な担体もしくは希釈剤を含む医薬組成物。